

意見交換における市内在住大学生の主な意見

(1) 概要

職員が、市内 6 大学（静岡文化芸術大学、静岡大学、浜松医科大学、浜松学院大学、聖隷クリストファー大学、常葉大学）を訪問し、意見交換を開催。市内居住の大学生から東京一極集中や地域への愛着、少子化など、人口減少に関する若者の意識について率直な意見を伺った。（企画課実施）

(2) 対象

市内 6 大学に通う学生（浜松市在住）

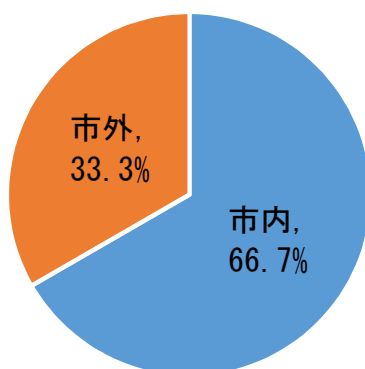
(3) 実施日程

- ・ 8/23（金） 静岡文化芸術大学
- ・ 9/3（火） 静岡大学
- ・ 9/4（水） 浜松医科大学
- ・ 9/9（月） 浜松学院大学
- ・ 9/12（木） 聖隷クリストファー大学
- ・ 9/17（火） 常葉大学

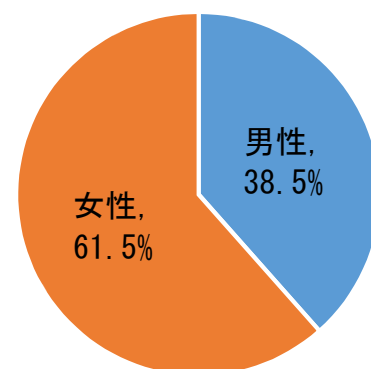
(4) 参加学生の内訳

大学名	参加者数	出身地	性別
静岡文化芸術大学	5 名	市内 5／市外 0	男性 1／女性 4
静岡大学	6 名	市内 1／市外 5	男性 3／女性 3
浜松医科大学	4 名	市内 1／市外 3	男性 0／女性 4
浜松学院大学	5 名	市内 5／市外 0	男性 2／女性 3
聖隷クリストファー大学	5 名	市内 4／市外 1	男性 1／女性 4
常葉大学	14 名	市内 10／市外 4	男性 8／女性 6
6 大学	39 名	市内 26／市外 13	男性 15／女性 24

出身地



性別



(4) 主な意見

浜松を居住場所として選んだ理由は何か。(浜松市の良いところ)

◆田舎すぎず、都会すぎずバランスが良く、住みやすい環境である。

- ・来たときは何も無いと思った。住んでいくうちにいいなと思った。田舎過ぎず、街全体が好き。
- ・程よい田舎で暮らしやすい。小さな公園も多い印象である。子育てはしやすそう。東京にあるものを目指すなら首都圏がよいが、住む分には浜松で良い。
- ・浜松の雰囲気。すごい田舎でもない、すごい都会でもない。ずっと住んでいることもあるが、気を張らなくていい雰囲気。

◆人間関係や地域の中でコミュニティが築けており、維持したい。

- ・小中の仲間がいるのがここにいる理由。仲がいいので離れたくない。愛着があり、築いた人間関係を維持したい。
- ・浜松まつりに昔から参加していて、将来子どもにも参加してほしい。昔の浜松の姿も伝えて行きたい。

◆自然環境に恵まれており、暮らしやすく、豊かな自然に触れ合うことができる。

- ・小さいときから自然に触れ合える機会。浜松は山、川、海、湖自然がすべて集まっている。魅力的な一面。
- ・この年になってから気づくよさがある。子どものうちは調べる手段も限られており、何でも都会にあこがれていた。だが、浜松には、海、山、川、レジャースポット、遊園地、動物園も両方ある都市は意外とない。雪が降らないというのも大人になるとメリットに感じる。
- ・自然が豊か、景色がきれいなことが自分の中で大事。

浜松に住み続けるために必要だと思うことは何か。(浜松市の問題点)

◆市内の交通の便が悪く、移動がしづらい。

- ・赤電とバスとのつながりのところに交通手段がほしい。
- ・浜松は交通の便が不便で駅前の治安が悪い。
- ・高校生までは移動面の不便さがゆえに浜松は好きではなかった。大学生になって車を持つてからは好きになった。

◆浜松ならではの良さを伸ばしてほしい。

- ・浜松は徹底的に東京と違うというところを目指したらどうか。自然が必要で、緑はあるが中途半端。中心部にささやかな公園はあるが、滞在できるような公園広場がない。都会との違いを伸ばしてほしい。
- ・生活するとなると帰って来ない理由より、帰って来る理由がない。いつでも帰って来れるということがある。
- ・自慢するなら浜松ならではのものを自慢してほしい。浜松に行く理由がない。

◆自分の能力や大学で学んだことが活かせる仕事や環境が必要である。

- ・ 広告を使った職種やWEBに携われる働き方ができるとよい。
- ・ 保育に進みたいが自分で小規模園を開きたい。浜松では子どもが減っていること、浜松では規模が大きいところが多く、小規模園のニーズが多い都会に行きたい。
- ・ 自分の能力を活かせる選択肢があるとよい。

◆大学進学時に、市内に幅広い選択肢があるとよい。

- ・ 浜松に住みたいと思っても、大学進学時に浜松から出ざるを得ない状態である。大学生が少ないのは、大学自体が少ないからという根本的な原因ではないか。
- ・ 私立大学は、実家から通うことが条件であった。このような家庭は少ないのではないか。だから県外進学する人よりも、高校卒業と同時に就職をする人が多いのでは。将来の目標がない時に、なんとなく大学進学できる人が少ないのでは。大学進学率が低いというデータ結果は当然だと感じた。よく言えば、深く学べる環境が整っているが、一点集中になってしまい選択肢が狭まっている。
- ・ 家庭によっては、経済的な理由で進学先が制限されることは、他都市に比べて多いのではないかと思う。浜松から出ていく人が多いのは、大学が少ないため。東京・関西に進学した友人は、就職では浜松に戻ってこない人が多い。

地域に愛着を持ったら、その地域に住み続けたり戻って来たりすると思うか。

◆浜松は地域とのつながりが深い。地域とのつながりは住み続けるにあたり大事である。

- ・ 20年ぐらい住んでいて、地域に育ててもらったという意識がある。今度は自分が、地域の人、子ども達に返していきたい。社会貢献的な意味で恩返ししたい。これからの浜松がどんな姿になっていくか協力しながら見ていきたい。それが繰り返されることで地域が育っていくと思う。もらった分を地域に返していきたい。
- ・ 浜松市は地域活性がすごいと思う。大学に来て地域貢献を行う中で、一つ一つの小さな地域でも地域を盛り上げる活動をしていると感じた。幼少期には大学生と関わった記憶がないため、このあたりは、地域住民と学生の交流が多いと感じる。さらに、お祭りが多い印象がある。夏休み中は各所で花火をやっている。

なぜ若者は東京圏に行き、戻ってこないと思うか。

◆自身がやりたい仕事や魅力的な企業が東京圏にあるから。

- ・ワクワクする仕事は東京に集まっている。
- ・世間一般での大手企業が少ないイメージ。新卒として全国、世界に名の通った企業を考え、次に住む場所をセカンドライフ的に選ぶ。そうすると浜松は選択肢としては外れる。
- ・インターン中に広報関係の仕事をしていたが、浜松市内の考えが古いとすることがあった。浜松は広報といえば、デザイン、発注、印刷など広報に関することをすべて個人が行うという考え方があった。東京では、デザインは外注、その修正指示など分業している。その辺りの考え方のずれも東京に出ていく要因かも。
- ・浜松と東京で就職活動をするのは距離があるため難しい。企業ツアーとかできると効果的。就職活動を頑張るのはその場所に魅力的な企業があるから。学生と企業とうまくマッチングできればいいが、知らずにいる事が多い。

◆都会へのあこがれ、情報量や経験できることが豊富であるから。

- ・やりたい事が見つからない人が、情報量が多い東京に行けば何か見つかるかもと期待していく人は多いのではないかと。また、人との出会いの機会が多いと思う。
- ・必要なものは浜松でも揃っている。より専門的なものは東京、首都圏の方にチャンスが多いように思う。

結婚についてどのように考えるか。

◆家庭についての印象や考えによって結婚希望に影響がある。

- ・家族の中がよく、家族をもちたいと思う。
- ・結婚は全くしたいと思わない。家族に良いイメージがない。夫婦関係に良いイメージがない。
- ・自分は一人では死にたくないため結婚したいと思う。未婚率が上がっていることについては否定的な思いはない。

◆仕事や収入によって結婚の希望は、左右される。

- ・結婚もしたいし、子どももほしいが、仕事を続けたい。
- ・結婚はしたいが、20代前半では仕事にフォーカスしたいと思っている。仕事にフォーカスするとパートナーにかまう暇も余裕もない。仕事が落ち着いてきたら、結婚も考えていきたい。

◆自己実現にとって、リスクやネガティブな要素だと考えている。

- ・結婚することはリスク。自分が幸せに考えられるかもわからないのに、自分の子どもが幸せになれるとはわからない
- ・結婚、出産することにより、時間もお金も取られてしまうという心配をしている。・結婚までの時間があるうちに自分の時間を大事にしようという情報が入ってくると、結婚するよりも自分を優先するのではないかと。

子どもを持つことについてどのように考えるか。

◆子どもを持つことの責任の大きさや子どもの将来を心配している。

- ・子どもはいらないと思っている。子どもを産む責任の大きさが心配で踏み出せない。子育てに関する悪いニュースも多くマイナスな印象が多い。人一人の人生を左右することを20代のうちに決めるのは難しい。
- ・地球が住みづらい感じになっている未来を考えたときに、生まれた子どもが成長したときに幸せになれるのか？と考えると、何も考えずに子どもを持つことは難しい。

◆子ども安心して産み、育てるための環境整備が必要である。

- ・働きたいと思っているので保育園や保育環境が充実しているとよい。
- ・子どもはほしいと思うが、教育費のサポートとか、子育て家庭のサポートがもう少し手厚くなったら考えたい。
- ・女性が仕事をしたい欲が最近は出てきていることが多い。女性が出産した後も仕事を続けられることが保証されると安心して産めるのでは。